

2025年度 お茶の水女子大学×日本芸術文化振興会 日本の伝統芸能

お茶の水女子大学は日本芸術文化振興会（芸文振）と協定を結び、多様な教育研究のプログラムを共催しています。本科目はその一環であり、伝統芸能に関する入門講座、舞台鑑賞、ワークショップを実施します。

1966年に開場した国立劇場は再整備のため閉場しました。主催公演は他の劇場で継続しているものの再開場の見通しは立っておらず、日本の伝統芸能は今岐路に立たされています。こうした時世において伝統芸能を未来につなぐことを目指し、一流の技芸を体感するとともに上演の裏側にも触れ、その保護と振興を考えます。

授業には毎回芸文振の現役職員の方が参加します。演劇や文化行政に関わる仕事に興味がある方はその仕事に直接接する貴重な機会となります。本学学生のほか、学外生、高校生、留学生も歓迎します。多様なバックグラウンドを持つ仲間とともに伝統芸能について考えましょう。

学内の方へ

対象：大学生、大学院生、附属校生徒
＊留学生も歓迎

学外の方へ

対象：他校の女子学生（所属と学年は不問）

お問い合わせ

詳細は以下のURLもしくはQRコードより
ご覧ください

<https://www.cf.ocha.ac.jp/dentogeino/j/menu/event/d015993.html>



共催：お茶の水女子大学「伝統芸能×未来」プロジェクト
日本芸術文化振興会

お問い合わせ：dentogeino@cc.ocha.ac.jp
担当：埋忠美沙（お茶の水女子大学准教授）

申込期間：

~4.13(日)

定員30名

※申込多数の場合は抽選となります